

# 文字・活字文化と図書館

講演者からのメッセージ

図書館は国民の知る権利の社会的保障装置である。そのことを図書館界自らが内外に示したのが、『図書館の自由に関する宣言』である。この宣言を軸に、図書館が民主主義社会の形式・発展と深くかかわっていることをみなさんとともに考えてみたい。

## 渡邊重夫さん

(藤女子大学図書館情報学課程教授)

### 『民主主義社会と文字・活字文化』

—「図書館の自由に関する宣言」と関わって—

日時：2008年11月22日(土)15時～17時

(場所：藤女子大学北16条キャンパス 北区北16条西2丁目)

主催・企画：藤女子大学・図書館情報学課程運営委員会

後援：北海道教育委員会 札幌市教育委員会 北海道新聞社

朝日新聞北海道支社 毎日新聞北海道支社 読売新聞北海道支社

紀伊國屋書店札幌本店 三省堂書店札幌営業所 丸善(株)札幌支店

参加申込：藤女子大学総務課 (Web 又は FAX から申込みができます。)

<http://www.fujijoshi.ac.jp> 「土曜講座2008」 FAX：011-709-8541

お問合せ：公開講座専用 (TEL011-736-5066 E-mail：doyokoza@fujijoshi.ac.jp)

### 渡邊重夫氏のプロフィール

1943年生。北海道学芸大学(現北海道教育大学)札幌校を卒業。高校教員を経て現在藤女子大学教授。

日本図書館学会賞受賞(1990年)

著書：『図書館の自由と知る権利』(青弓社, 1989)・『子どもの権利と学校図書館』(青弓社, 1993)

『司書教諭という仕事』(青弓社, 1999)・『学校図書館概論』(勉誠出版, 2002)・『司書教諭

のための学校経営と学校図書館』(学文社, 2003)他。